

磯部地区における地域活性化

未来そうま
石橋浩人 議員



問

今後の人口増加につながる施策についてを問う。

磯部地区の特色を生かした活性化策を実現するよう検討していく。

東日本大震災から6年と6カ月が経過するが、壊滅的な被害を受けた磯部地区では生活基盤の整備、再生などハード面では復興をしてきた。

しかし、震災前には2,000人を超えていた人口が現在980人と半分以下まで減少している状況にあるが、市としてのようになら考え、どう取り組んできたのか伺う。

問 今後の人口増加につながる施策について問う。

答 新たに整備した磯部水産加工施設内に視察等のための見学エリアを設け、物販施設の併設、今

年度中に完成予定の市道大洲松川線により、磯部地区と原釜地区がつながること、相馬市磯部地区水産物流通加工業協同組合と連携しながら磯部地区の特産品などの販売。

地元から要望のある磯部地区慰霊碑周辺の整備については、磯部メガソーラー事業の市有地の賃貸料を利用して、人々が集う公園となるよう整備をするなど、磯部地区の特色を生かした活性化策を考えているが、具体的な事業等の提案があった際には、地域の方々と相談の上、できる限り実現するよう検討していく。



今年度の開通に向け急ピッチで工事が進む大洲松川線



磯部地区慰霊碑周辺の公園整備予定地

その他の質問

- ・今年の異常気象による農作物への影響
- ・「イクボス宣言」

相馬野馬追振興施策

問 「旗まつり」として盛り上げることにについて問う。

答 関連団体の意見を踏まえ、検討をしていく。

相馬野馬追は、騎馬武者が中心的役割を担っており、一般市民にとっては、自分たちのお祭りであると思えないところがある。しかし、野馬追は、騎馬武者だけではなく、神社、行政、観光協会、商店街等のさまざまな機関、団体、一般市民の協力で成り立っているのが実態だ。

問 「旗まつり」として盛り上げることにについて問う。

答 街のにぎわいなどのために相馬野馬追の旗をふやすことについて、今

後、相馬野馬追振興委員会をはじめ、各商栄会や関連団体の意見を踏まえ、検討していく。

問 観光産業における相馬野馬追の活用施策について問う。

答 これまで宇多郷騎馬会のご協力のもと、市民まつりでの甲冑の展示やほら貝の披露、道の駅さうまでの子供乗馬体験など、さまざまなイベントを行ってきた。今後も可能な限り相馬野馬追の観光への活用を図るとともに、当日の関連行事につきましても、関係団体からご意見をいただきながら検討してまいりたい。



そうま維新
根岸利宗 議員



今年度開催された相馬野馬追(大手門前)

その他の質問
・雇用問題

問 今年度の相馬野馬追の実施状況について問う。

答 今年度の出場騎馬数は48騎で、昨年度に比べ6騎増え、観客数は相馬市観光協会の発表によれば、今年度1万3,000人であり、雨天等の影響により昨年度に比べ5,000人減っている。